

麒麟との合弁、清算再申し立て ミャンマー国軍系企業

2022/2/21 18:12 | 日本経済新聞 電子版



ヤンゴン近郊にあるミャンマー・ブルワリーの工場(2021年1月)

麒麟ホールディングス(HD)は21日、ミャンマーの国軍系企業、ミャンマー・エコノミック・ホールディングス(MEHL)とのビール合弁事業を巡り、MEHLが合弁企業の清算を再び現地裁判所に申し立てたと発表した。申し立ては1月27日付。麒麟HDは2月3日にMEHLと協議して撤退を申し入れており「今後もMEHLとの協議を最優先に進める」としている。

再申し立ては2月の麒麟HDのミャンマー撤退の表明前に行われており、撤退交渉への影響は小さいと見られる。MEHLは2021年11月に会社法を根拠に合弁企業の清算を現地裁判所に申し立てたが、22年1月に却下された。今回は根拠法を倒産法に変更して再び申し立てた。麒麟HD側もシンガポール国際仲裁センターへの仲裁の提起は撤回していない。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

